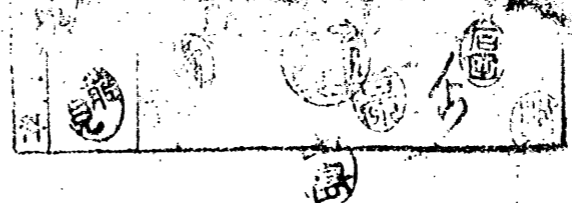




国立公文書館	
分類	③ ④
配架番号	3 A
	14
	31-8

科



ADVICE# 10112  
SACK# 17  
ITEM# 56



獨軍「フェルジナンド」型自走砲  
の弱點と之が取崩法

19.4.2  
受

国立公文書館	
分類	
配架番号	31-8

國防人民委員部軍事出版部  
美術科 19-3

7  
20  
2

〔註〕

1. 原品は 120 × 666 の寸法にて之を七折になし帯に便なる如く爲しあり。
2. 原品は二色刷にて射撃姿勢及火焰を赤色で示せり

陸軍兵器行政本部  
製図部 検閲複製

4. 車体の上層直飯  
及装甲飯の後壁

機を配置し 前方に砲塔及電動機あり 下部  
機、中央に排気窓あり 上部直飯の豫備油

破甲弾を57口径砲にて

小口径砲を以て射撃す

式76口径砲にて

米： 破甲弾を76及85口径高射砲にて射撃す

縦手窓 無線通信手窓  
及電動機上部の窓

一は油槽上の窓

各種口径砲より上部前面装甲飯の下部を射撃す

弾を以つて塔を射撃すべし、

5. 自走砲の底部

に出た時底部を露出す

動にて底部を射撃すべし

めくれず

裏面白紙

RESTRICTED

WDC No \_\_\_\_\_ Team X 3 Scanner \_\_\_\_\_ Index No \_\_\_\_\_

39708656.

Typewritten mimeographed loose-bound sheets with photographic illustrations, "Vulnerable Point and Method of Fighting German Ferdinand Type Self Propelled Gun," Civilian Defense Committee, Military Affairs Department, 1943, "Confidential".

RESTRICTED

4. 車体の上部垂直板  
及装甲板の後壁

垂直板の後部に砲架を配置し 前方に燃料箱及電動機あり 下部傾斜板の内側に電動機、中央に排気窓あり 上部傾斜板に豫備油槽あり

- 1000 米以下： 破甲弾を 87 耗砲にて
- 300 ~ 500 米： 小口徑砲を以て射撃すべし
- 39 年及 42 年式 76 耗砲にて
- 300 ~ 1200 米： 破甲弾を 76 及 85 耗高射砲にて射撃すべし

5. 操縦手窓 無線通信手窓  
及電動機上部の窓

自走砲の弱点の一は油槽上の窓に在り  
地雷弾を以て各種口徑砲より上部前面装甲板の下部を射撃し  
又對戦車榴弾を以て塔を射撃すべし、

6. 自走砲の底部

自走砲は高地に出た時底部を露出す  
各種口徑砲にて底部を射撃すべし

7. 加農砲

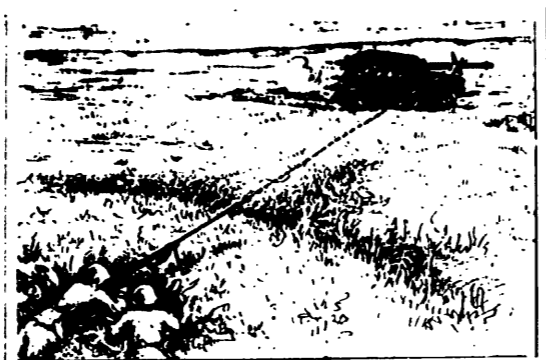
加農砲は各種兵器の主目標となる

各種兵器にて加農砲を射撃すべし

8. 視察孔及潜望具

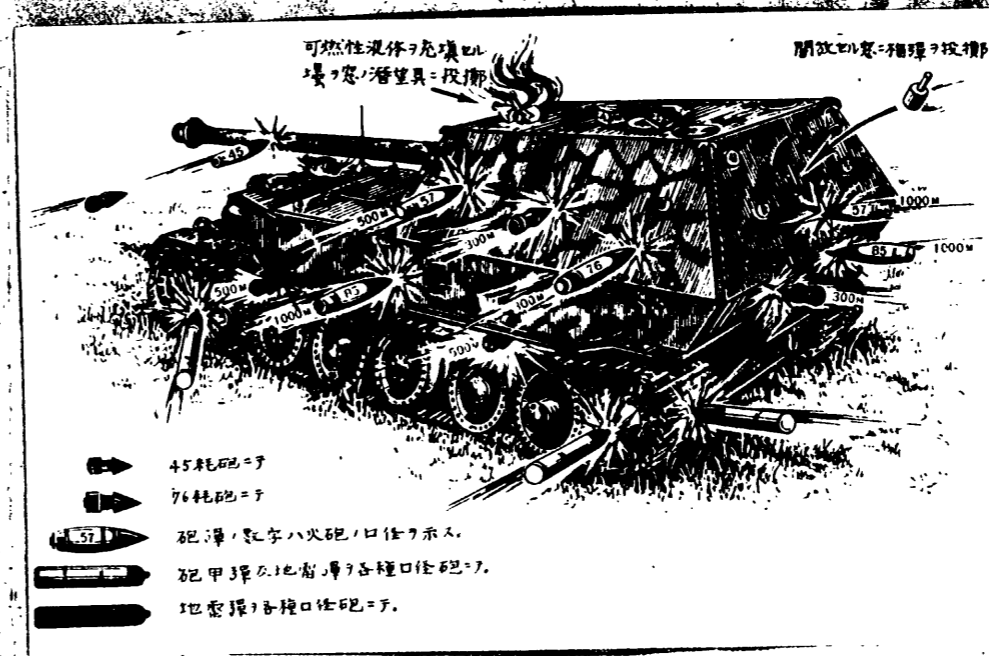
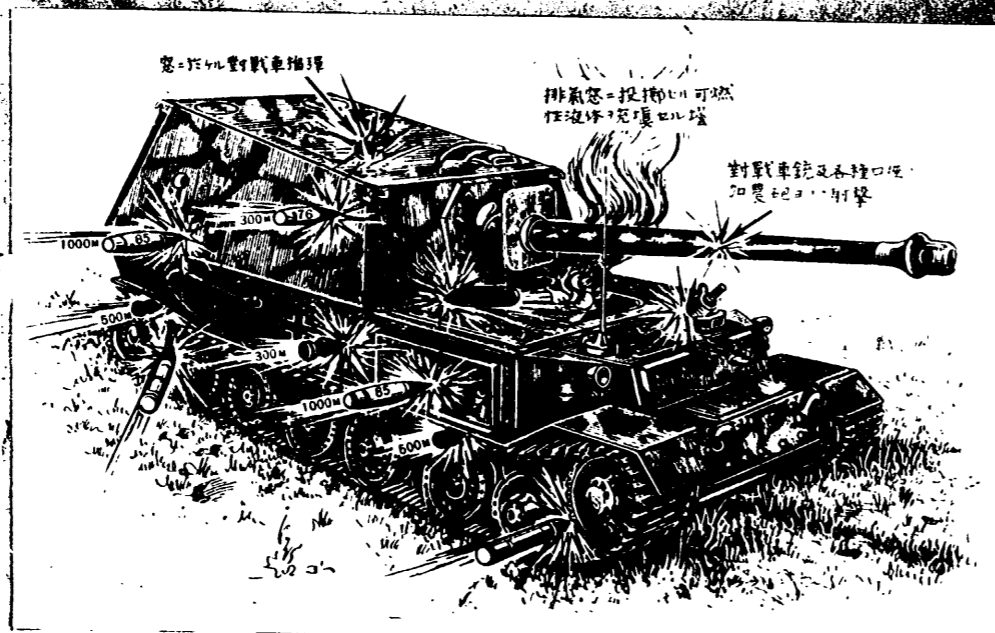
銃眼窓には潜望具無線通信手及操縦手の許に視察孔、屋根の両手の許にバノラマが設置せらる

各種火砲にて潜望具 視察孔及無線通信手を射撃し、乗員を死傷さすべし



フェルジナンド自走砲の武装に對しては對戦車銃及各種口径の火砲にて射撃すべし

# フェルジナント自砲の弱点



めくれず

